

「キリストの愛が私たちを駆り立てる」

「キリストの愛が私たちを駆り立てる」のです。.....生きている人たちはもはや自分のために生きるのでは[ありません]」。 [コリント第二 5:14, 15](#)

13 番の歌 キリストは私たちの手本

何を学ぶか***記念式の時期**には、**イエスの生涯や死についてじっくり考え**ます。**エホバとイエス**が示してくださった**愛**についても**思い巡ら**します。そうすると、**感謝を行動で表したい**という気持ちになります。この記事では、**贖いへの感謝やエホバとイエスへの愛**をどのように示せるかを学びます。**エホバとイエスの愛に感動**すると、**兄弟姉妹を愛し、勇気**を示し、**喜んでエホバに仕えたい**という気持ちになるでしょう。

1-2. (ア) イエスが教えたことや行ったことについて考えると、どんな気持ちになりますか。(イ) この記事ではどんなことを学びますか。

家族や友達を亡くすと、とても悲しい気持ちになります。初めのうちは、その人が亡くなるまでのことを思い出してつらくなるかもしれません。苦しい闘病生活の末に亡くなった場合は特にそうです。でも、時たつうちに、その人が**教えてくれたことや励ましてくれたことを思い出**して、**心が温かく**なることでしょう。

2 **記念式の時期**には、**イエスの贖いについてじっくり考え**ます。([コリ一 11:24, 25](#) **感謝の祈り**をしてからそれを割り、こう言いました。「これはあなたたちのための私の体を表しています。このことを行っていき、私のことを思い起こし(*記念し)なさい」。 25 食事が済んでから、杯についても同じようにして、こう言いました。「この杯は私の血による新しい契約を表しています。それを飲むたびに、このことを行い、**私のことを思い起こし(*記念し)なさい**」) (ア) ① **イエスが苦しんで死んだこと**について読むと、**悲しい気持ち**になります。でも、② **イエスが地上で教えたことや行ったこと**について考えると、**温かい気持ち**になります。③ **イエスが私たちのために今行っていることや将来してくれること**について考えると、**力が湧いて**きます。こうした **イエスの愛**について**思い巡らす**なら、**感謝を行動で表したい**という気持ちになるでしょう。

では、(イ) どのように**感謝を表せるか**考えていきましょう。

感謝の気持ちからイエスに従う

3. 贖いに感謝できるのはどうしてですか。

3 **イエスの生涯や死**について考えると、**感謝の気持ちでいっぱい**になります。イエスは、**神の王国**が**どんな素晴らしい将来を実現**するかについて教えました。私たちは、**王国についての真理**を知ることができて、とてもうれしく思っています。イエスの**贖いにも感謝**しています。そのおかげ

げで、エホバやイエスとの友情を持つことができます。イエスに信仰を抱くなら、永遠に生きて、亡くなった愛する人たちと再会することもできます。（ヨハ 5:28, 29 このことに驚いてはなりません。記念の墓の中にいる人が皆、彼の声聞いて出てくる時が来るのです。29 良いことをした人は命の復活へ、悪いことを行った人は裁きの復活へと出てきます。ロマ 6:23 罪の代償(*罪が支払う報酬)は死ですが、神が与える贈り物は、私たちの主であるキリスト・イエスによる永遠の命なのです) 私たちがこうした祝福を得られるのは決して当然のことではありませんし、エホバとイエスに十分にお返しできるわけでもありません。（ロマ 5:8 しかしキリストは、私たちがまだ罪人だった間に、私たちのために死んでくださいました。そのことにより、神はご自分の愛を私たちに示してくださっています。20, 21 律法が登場したことにより、多くの過ちが明らかになりました。しかし、罪が増すと、惜しめない親切がいつそう豊かに示されました。21 何のためでしょうか。罪が死と共に王として支配したように、惜しめない親切も正しさを通して王として治め、主イエス・キリストによって永遠の命に導くためです) でも、心から感謝していることを表すことはできます。どのようにでしょうか。



マリア・マグダレネの手本についてじっくり考えると、エホバとイエスへの感謝を表したいという気持ちになる。（4-5 節を参照）

4. マリア・マグダレネは、イエスがしてくれたことへの感謝をどのように表しましたか。（写真と挿絵を参照。）

4 ユダヤ人の女性、マリア・マグダレネのことを考えてみましょう。マリアは邪悪な天使 7 人に取りつかれていて、とても苦しんでいました。絶望的だと感じていたことでしょう。それで、イエスが邪悪な天使を追い出してくれた時、心から感謝したはずで。マリアは感謝の気持ちからイエスの弟子になり、自分の時間やエネルギーや持ち物を使ってイエスの伝道をサポートしました。（ルカ 8:1-3 その後すぐ、イエスは町から町へ、村から村へと旅をし、神の王国の良い知らせを広めた。12 人が一緒にいた。2 邪悪な天使から解放され病気を癒やされた女性たちもいた。邪悪な天使 7 人を追い出してもらった、マグダレネと呼ばれるマリア、3 また、ヘロデ家の管理人クエザの妻ヨハンナ、スザンナ、その他多くの女性たちである。この女性たちは、自分の持ち物を使ってイエスと使徒たちに仕えていた) でも、イエスが助けたのはマリアだけではありません。人類全てのために、もっと素晴らしいことを行おうとしていました。自分の命を犠牲にして、「独り子に信仰を抱く人が皆」、永遠の命を受けられるようにしたので。（ヨハ 3:16 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました）マリアはこうしたことを十分には理解していなかったかもしれませんが、感謝の気持ちからイエスを支え続けました。イエスが杭に掛けら

れて苦しんでいた時には、そばにいて、イエスや周りの人たちを力づけました。（ヨハ 19:25）ところで、イエスの苦しみの杭のそばには、イエスの母親と母親の姉妹、クロパの妻マリアとマリア・マグダレネが立っていた）イエスが亡くなった後は、埋葬のための香料を持って2人の女性たちと一緒に墓の所へ行きました。（マル 16:1, 2 安息日が終わると、マリア・マグダレネ、ヤコブの母親マリア、サロメは香料を買った。イエスの体に付けに行くためである。2そして、週の最初の日の朝とても早く、墓に来た。太陽はすでに昇っていた）マリアはこのようにイエスを支え続けたので、大きな祝福を受けました。復活してきたイエスと会って話すことができたのです。そのような経験ができた弟子たちはごくわずかでした。（ヨハ 20:11-18 一方、マリアは墓の外に立ったまま泣いていた。泣きながら前かがみになって墓の中をのぞくと、12 イエスの体が置いてあった所に、白い衣服をまとった天使2人が座っていた。1人は頭の所、1人は足の所にある。13 2人は言った。「なぜ(d*女性よ、なぜ)泣いているのですか」。マリアは言った。「誰かが私の主を運び去り、どこに持っていったのか分からないのです」。14 こう言った後、振り返ると、人が立っているのが見えたが、それがイエスだとは気付かなかった。15 イエスはマリアに言った。「なぜ(d*女性よ、なぜ)泣いているのですか。誰を捜しているのですか」。マリアは、それが庭師だと思って、こう言った。「もし主を移動させたのでしたら、どこに置いたのか教えてください。私が引き取ります」。16 イエスは、「マリア！」と言った。マリアは向き直ると、ヘブライ語で、「ラボニ！」（「先生」という意味）と言った。17 イエスは言った。「私にすがり付くのはやめなさい。私はまだ父のもとへ上っていません。でも、私の兄弟たちの所に行って、こう伝えなさい。『私は、私の父であなたたちの父である方、私の神であなたたちの神である方のもとへ上る』」。18 マリア・マグダレネは行って、「主を見ました！」と弟子たちに知らせ、イエスが言ったことを伝えた）

5. エホバとイエスがしてくれたことへの感謝をどのように表せますか。

5 私たちもエホバとイエスがしてくれたことへの感謝を表すために、自分の時間やエネルギーやお金を使ってエホバへの奉仕を行うことができます。例えば、崇拝で使う建物の建設やメンテナンスに参加できます。

ほかの人たちに愛を示す

6. イエスがあなたのために死んでくださったと言えるのはどうしてですか。

6 エホバとイエスが私たちをどれほど愛してくださっているかを考えると、感動し、エホバとイエスを愛するようになります。（ヨハ 4:10 私たちが神を愛したというより、神が私たちを愛し、私たちの罪を償う(*私たちを神と和解させる)犠牲としてご自分の子を遣わしてくださったのです。これこそが愛です、19 私たちが愛するのは、神がまず愛してくださったからです）そして、イエスが自分のために死んでくださったということが分ると、エホバとイエスへの愛はもっと強くなるでしょう。パウロも、ガラテアのクリスチャンに宛ててこう書きました。「神の子は私を愛し、私のために自分を差し出してくださいました」。（ガラ 2:20 私はキリストと共に杭にくぎ付けにされています。もう自分のためには生きておらず、キリストと結び付いて生きています(d*生きているのはもはや私ではなく、私と結び付いて生きているキリストです)。人間としての今の命を、神の子への信仰によって生きているのです。神の子は私を愛し、私のために自分を差し出してくださいました）エホバはあなたを引き寄せ、ご自分の友とするために、イエスを犠牲にしてくださいました。（ヨハ 6:44 私を遣わした父が引き寄せてくださらない限り、誰も私のもとに来ることはできません。私はその人を終わりの日に復活させます）エホバがあなたの良いところを見てくださ

たことや、**ご自分の友にするために大きな犠牲を払ってくださったことを考えると、** **温かい気持ちになり、** エホバとイエスへの**愛が強まる**のではないのでしょうか。では、**その愛に応えてどんなことができる**のでしょうか。



あらゆる人に王国の良い知らせを伝えるなら、エホバとイエスを愛していることを示せる。（7節を参照。）

7. 写真からも分かるように、エホバとイエスへの愛をどんな方法で示せますか。（[コリント第二 5:14, 15; 6:1, 2](#)）

7 エホバとイエスを愛しているなら、**ほかの人にも愛を示したいという気持ちになります。**（[コリント第二 5:14, 15](#) **キリストの愛が私たちを駆り立てる**のです。私たちは次のように考えているからです。1 **人の人が全ての人のために死にました。**ということは、全ての人は死んでいたのです。15 **その方が全ての人のために死んだのですから、** **生きている人たちはもはや自分のために生きるのではなく、自分のために死んで生き返らされた方のために生きるべきです。** [6:1, 2](#) さらに、神と共に働く私たちは皆さんに勧めます。神の惜しみない親切を受けながら、それを**無駄にする(*その目的を見失う)ことがないように**してください。2 神は、「私は受け入れられる時にあなたの言うことに耳を傾け、救いの日にあなたを助けた」と言っています。 **今こそ特に受け入れられる時です。** **今こそ救いの日です**を読む。) **愛を示す1つの方法は、一生懸命伝道を行う**ことです。私たちは、相手の人種や民族、経済的状況や社会的地位などに関係なく、**全ての人に良い知らせを**伝えます。そうするならエホバに喜んでいただけます。エホバは「**あらゆる人が救われて、真理の正確な知識を得ること**」を**望んでいる**からです。（[テモ一 2:4](#) 神は、**あらゆる人が救われて、真理の正確な知識を得ることを望んでいます**）

8. 兄弟姉妹にどのように愛を示せますか。

8 **仲間の兄弟姉妹を愛することによっても、** エホバとイエスへの愛を表せます。（[ヨハ一 4:21](#) **そして、その方から次のおきてが与えられています。神を愛する人は、自分の兄弟も愛さなければなりません**）仲間のことを**温かく気遣い、** **大変な状況にある時には力になりたい**と思います。大切な人を亡くした**兄弟姉妹を慰めたり、** **病気の仲間のお見舞いに行ったり、** **落ち込んでいる人を力づけたり**できます。（[コリ二 1:3-7](#) 私たちの主イエス・キリストの父である神が賛美されますように。神は、温かな憐れみの父、あらゆる慰めの神であり、4 私たちがどんな試練(*苦難)に遭うとしても慰めて(*励まして)くださいます。それで私たちは、神からの慰めにより、どんな試練(*苦難)に遭う人をも慰めることができます。5 私たちはキリストのために大変苦しんでいます、キリストを通して大変慰められています。6 私たちが試練(*苦難)に遭うとすれば、それは皆さん

の慰めと救いのためです。私たちが慰められているとすれば、それは皆さんの慰めのためであり、その慰めによって皆さんは私たちと同じ苦しみを忍耐しやすくなります。7 私たちが皆さんについて抱いている希望は揺るぎません。皆さんが私たちと苦しみを分け合っているのと同じように慰めをも分け合うことを、私たちは知っているからです。テサー 5:11 それで、すでにしている通り、これからも励まし(*慰め)合い、力づけ合ってください、14 兄弟たち、さらに勧めます。秩序を無視する人に警告を与え(*を訓戒し)、気落ちしている人に慰めの言葉を掛け、弱い人を支え、誰に対しても辛抱強くあってください) **仲間のためにエホバに祈る** こともできます。「**正しい人の祈願には大きな力があ**」るからです。(ヤコ 5:16 ですから、互いに罪を告白し、互いのために祈ってください。そうすれば癒やされます。正しい人の祈願には大きな力があります)

9. 兄弟姉妹に愛を示すために、どんなことも できますか。

9 兄弟姉妹に愛を示すためには、**平和な関係でいるよう努力** することも大切です。**エホバに倣って仲間を許す** ようにしましょう。エホバは**私たちの罪を許すためにイエスを犠牲に** してくださいました。そうであれば、**誰かから傷つけられるとしても、快く許すべき** ではないでしょうか。イエスの**例えに出てくる邪悪な奴隷** のようにはなりたくありません。その奴隷は、**王様から多額の借金を帳消しにしてもらったのに、はるかに少ない仲間の奴隷の借金を帳消しにしようとは** しませんでした。(マタ 18:23-35) **会衆の誰かと関係がうまくいっていないように感じる** なら、**記念式の前に自分の方から仲直り** できるでしょうか。(マタ 5:23, 24 それで、あなたが供え物を祭壇に持ってきて、仲間が自分に対して何か反感を抱いていることをそこで思い出したなら、**24 供え物を祭壇の前に残して、出掛けていきなさい。まず仲間と仲直りし、それから戻ってきて、供え物を捧げなさい**) そうするなら、エホバとイエスへの**愛を表すことが** できます。

10-11. 長老たちはエホバとイエスへの愛をどのように示せますか。 (ペテロ第一 5:1, 2)

10 長老たちは、エホバとイエスへの愛をどのように示せるでしょうか。**イエスの羊を世話する** ことによって示せます。(ペテロ第一 5:1, 2 私は長老として、またキリストの苦しみの証人、やがて明らかにされる栄光を共に受ける者として、同じ長老の皆さんに勧めます。2 皆さんに委ねられた神の羊の群れを世話してください。強いられてではなく、神の前で進んで監督として奉仕し(*進んで群れを注意深く見守り)、不当な利益を得ようとしてではなく、真剣な態度で世話しましょうを読む。) この点はイエスとペテロの会話からよく分かります。**イエスを3度否認したペテロ** は、**自分が本当はイエスを愛している** ということを**ぜひ証明したい** と思っていたことでしょう。その後、復活したイエスから、「**ヨハネの子シモン、私を愛していますか**」と尋ねられます。ペテロは、**イエスへの愛を示すためにどんなことでも** するつもりでした。そんなペテロに、イエスは「**私の小さな羊を世話しなさい**」と言いました。(ヨハ 21:15-17 弟子たちが朝食を終えると、イエスはシモン・ペテロに言った。「ヨハネの子シモン、これら以上に私を愛していますか」。ペテロは答えた。「はい、主よ、私があなたに愛情を抱いていることをあなたは知っています」。イエスは言った。「私の子羊を養いなさい」。16 また2度目に、「ヨハネの子シモン、私を愛していますか」と言った。ペテロは答えた。「はい、主よ、私があなたに愛情を抱いていることをあなたは知っています」。イエスは言った。「私の小さな羊を世話しなさい」。17 そして3度目に、「ヨハネの子シモン、私に愛情を抱いていますか」と言った。3度目に、「私に愛情を抱いていますか」と言われ、ペテロは悲しくなって、こう言った。「主よ、あなたは全て分かっています。私があなたに愛情を抱いていることを知っています」。イエスは言った。「私の小さな羊

を養いなさい) ペテロはその後、生涯にわたってイエスの羊を優しく世話し、イエスを愛していることを示しました。

11 記念式の時期、長老たちはイエスの言葉をどのように実践できるでしょうか。兄弟姉妹の牧羊を行うことができます。集会や奉仕を休んでいる兄弟姉妹が再びエホバに活発に仕えられるよう援助することもできます。(エゼ 34:11, 12 主権者である主エホバはこう言う。「私はここにおり、自ら自分の羊を捜し、世話する。12 散らされた羊を見つけて養っている羊飼いのように、私は自分の羊を世話する。雲と濃い暗闇の日に散らされた全ての場所から、羊を救い出す) 聖書を学んでいる人や関心を示して記念式に来た人たちが会衆に加わりたいと思えるように助けることもできるでしょう。このようにイエスの羊を世話するなら、エホバとイエスを心から愛していることを示せます。

勇気を持って行動する

12. イエスが亡くなる前に語った言葉について考えると勇気が湧いてきます。どうしてですか。 (ヨハネ 16:32, 33)

12 イエスは亡くなる前の晩、弟子たちにこう言いました。「**あなたたちは世で苦難に遭いますが、勇気を出しなさい！ 私は世を征服したのです**」。(ヨハネ 16:32, 33 **あなたたちが散らされてそれぞれ自分の家に帰り、私を独りにする時が来ます。いえ、もう来ています。とはいえ、私は独りではありません。父と一緒にいてくださるからです。33 これらのことを言ったのは、あなたたちが私によって平和な気持ちになるためです。あなたたちは世で苦難に遭いますが、勇気を出しなさい！ 私は世を征服したのです**」を読む。) イエスは敵たちから反対されても**勇気を示し、死ぬまでエホバに従い続け**ました。そうできたのはどうしてでしょうか。**エホバに頼った**からです。イエスは、**弟子たちも同じような反対に遭うことが分かっていたので、弟子たちを見守ってくれるように**とエホバに**お願い**しました。(ヨハ 17:11 **私は世からいなくなりますが、この人たちは世にいます。私はあなたのもとに向かいます。聖なる父よ、あなたは私にあなたのお名前を託してくださいました。そのお名前のためにこの人たちを見守ってください。私たちが一つであるように、彼らも一つになるためです**) このことを知ると、**勇気が湧いてきます。エホバはどんな敵よりも強い方**だからです。(ヨハ 4:4 **子供たち、皆さんは神から出ており、偽預言者たちを征服しました。皆さんと結び付いている方は、世と結び付いている者より強いからです**) 私たちが**問題にぶつかる時、エホバがそれに気付かない**ということは**決してありません**。ですから、**エホバに頼るなら、恐れ**の気持ちを**乗り越え、勇気を持って行動**することができます。

13. アリマタヤのヨセフはどのように勇気を示しましたか。

13 **アリマタヤのヨセフ**の例を考えてみましょう。ヨセフは、**周りのユダヤ人から良い評判**を得ていた人で、ユダヤ人の最高法廷である**サンヘドリンの一員**でした。**イエスが生きていた間は勇気**を示すことができず、「**ユダヤ人たちを恐れてひそかにイエスの弟子となってい**」ました。(ヨハ 19:38 こうしたことの後、アリマタヤのヨセフがピラトに、イエスの体を下ろさせてほしいと頼んだ。ユダヤ人たちは恐れてひそかにイエスの弟子となっていた男性である。この男性はピラトの許可を得ると、行ってイエスの体を下ろした) ヨセフは王国の良い知らせに関心を持っていましたが、**イエスを信じていることを隠**していました。**良い評判や立場を失うことを恐れて**いたのでしょうか。でも聖書によると、**イエス**

が死んだ後、ヨセフは「勇気を出してピラトの前に行き、イエスの体を頂きたいと願い出」しました。（[マル 15:42, 43](#)） ついに、自分がイエスの弟子であることを明らかにしたのです。

14. 人の目が気になって勇気が出ない時、どんなことができますか。

14 あなたもヨセフと同じように、人の目が気になって勇気が出ないということがありますか。学校や職場で、自分がエホバの証人だということを知らせるのが怖いと感じるかもしれません。あるいは、人からどう思われるかを気にして、伝道者になることやバプテスマを受けることをためらうかもしれません。では、正しいことを行う勇気が出ないと感じる時、どうしたらよいでしょうか。自分の気持ちをエホバに打ち明けましょう。「あなたに喜ばれることを行うための勇気を下さい」と祈ることができます。エホバが祈りに答えてくれたと感じると、勇気を持って行動したいという気持ちになるでしょう。（[イザ 41:10](#) 恐れてはいけない。私があなたと共にいる。心配してはいけない。私があなたの神である。私はあなたを強くし、必ず助ける。私の正義の右手であなたをしっかりと支える(*つかんで離さない)、[13](#) あなたの神である私エホバは、あなたの右手をしっかりとつかみ、『恐れてはいけない。私があなたを助ける』と言う)

喜びを抱いてエホバに仕える

15. 弟子たちは復活したイエスに会った後、喜びを抱いてどんなことをしましたか。（[ルカ 24:52, 53](#)）

15 イエスが亡くなった時、弟子たちはとても悲しみました。大切な友であり、自分たちを救ってくれると期待していたイエスがいなくなってしまっただからです。（[ルカ 24:17-21](#) イエスは言った。「歩きながら何のことを論議しているのですか」。2人は悲しそうな顔をして立ち止まり、18 クレオパという人が答えた。「あなたはよそからエルサレムに来て1人で住んでいるために、最近そこで起きたことを知らないのですか(if*エルサレムを訪れたのに、最近そこで起きたことをあなただけが知らないのですか)」。19 イエスが、「どんなことですか」と尋ねると、2人は言った。「ナザレ人イエスに関することです。その人は、神と全ての人の前で行いも言葉も強力な預言者であることを示しました。20 私たちの祭司長や支配者たちは彼を引き渡して死刑宣告を受けさせ、杭にくぎ付けにしました。21 しかし私たちは、この人がイスラエルを救出する方だという希望を抱いていました。それなのに、これらのことが起きてから今日で3日目です」でも、イエスは復活した後弟子たちに現れ、聖書の預言が自分にどのように実現したかを説明しました。大切な仕事も任せました。（[ルカ 24:26, 27](#) キリストはこうした苦しみを経て栄光を受ける必要があったのではありませんか」。27 そして、モーセと全ての預言者の書から始めて、聖書全巻にある自分に関連した事柄を2人に解き明かした、[45-48](#) そして、聖書の意味を把握できるよう弟子たちの思考を十分に刺激してから、46 こう言った。「このように書いてあります。キリストは苦しみを受け、3日目に生き返り、47 その名によって、罪の許しのために悔い改めるようにとの知らせが、エルサレムから始めて全ての国の人々に伝えられます。48 あなたたちはこれらのことの証人となります」40 日後、イエスが昇天する時まで、弟子たちは喜びにあふれていました。イエスが生きていて、自分たちを支え、大切な仕事を果たせるようにしてくれる、ということが分かっていたからです。その後も弟子たちは、喜びを抱いてエホバを賛美し続けました。（[ルカ 24:52, 53](#) 弟子たちはイエスに敬意を表し、大きな喜びを抱いてエルサレムに帰った。53 そしていつも神殿にいて、神を賛美していたを読む。[使徒 5:42](#) そして毎日、神殿で、また家から家へと行って教え、キリストであるイエスについての良い知らせを広め続けて、やめなかった）

16. どうすればイエスの弟子たちに倣えますか。

16 どうすればイエスの弟子たちに倣えるでしょうか。記念式の時期だけでなく、一年中いつでも喜んでエホバに仕えることです。そのためには、王国を第一にした生活を送ることが大切です。例えば、仕事の予定を調整して、集会や伝道に定期的に参加したり家族の崇拝を毎週行ったりできます。また、ほかの人が生活に必要なだと考えている物でも、「本当に自分たちに必要だろうか」と考えることもできます。シンプルな生活を送るなら、会衆のためにもっと多くのことをしたり、伝道者の必要の大きな所に移動したりできるかもしれません。エホバに仕え続けるには努力が必要ですが、王国を第一にするなら、エホバは豊かに祝福してください。 (格 10:22 エホバの祝福が人を富ませる。それに痛み(*悲しみ/苦しみ)は伴わない。マタ 6:32, 33 これら全ては異国の人々が必死に求めているものです。天の父は、あなたたちがこうしたもの全てを必要としていることを知っています。33 ですから、王国と神から見て正しいこととをいつも第一にしましょう。そうすれば、こうしたほかのもの全ても、あなたたちに与えられます)



記念式の時期、エホバとイエスがあなたのためにしてくれたことをじっくり考えてください。(17 節を参照。)

17. 記念式の時期にどんなことをしたいと思いますか。(写真を参照。)

17 私たちは、4月4日火曜日の記念式に出席するのをとても楽しみにしています。記念式の時期に、イエスの生涯や死、またエホバとイエスが私たちのためにくださったことについて考えるのは良いことです。例えば、「新世界訳聖書」付録 B12 の「イエスの地上での最後の週」の表に挙げられている出来事について、聖書を読みながらじっくり考えることができます。「この聖句は、エホバとイエスへの感謝や愛を深め、勇気を持って行動し、喜んでエホバに仕える上で、どのように役立つだろうか」と考えてみてください。「心から感謝していることをどのように行動で示せるだろうか」と考えることもできます。記念式の時期にイエスを思い起こすための努力を払うなら、イエスは喜んでくださいます。(啓 2:19 『私は、あなたの行いと、愛と信仰と奉仕と忍耐を知っています。そして、最近あなたが、初めの頃より多くのことを行っているのを知っています』)

1. 感謝を表すために

- ・S04 マリア・マグダレネはイエスの弟子になり、自分の時間やエネルギーや持ち物を使ってイエスの伝道をサポートした
- ・S05 自分の時間やエネルギーやお金を使ってエホバへの奉仕を行うことができる。例えば、崇拝で使う建物の建設やメンテナンスに参加できる

2. 愛と勇気を示すために

- ・S07 愛を示す 1 つの方法は、一生懸命伝道を行うこと。私たちは、相手の人種や民族、経済的状況や社会的地位などに関係なく、全ての人に良い知らせを伝える
- ・S08 仲間のことを温かく気遣い、大変な状況にある時には力になりたいと思う。大切な人を亡くした兄弟姉妹を慰めたり、病気の仲間のお見舞いに行ったり、落ち込んでいる人を力づけたり、仲間のためにエホバに祈ることもできる
- ・S09 誰かから傷つけられるとしても、快く許すし、平和な関係を直ぐに回復するよう努力
- ・S10 長老たちは、イエスの羊を優しく世話する
- ・S11 記念式の時期、長老たちは兄弟姉妹の牧羊を行い、集会や奉仕を休んでいる兄弟姉妹が再びエホバに活発に仕えられるよう援助する。聖書を学んでいる人や関心を示して記念式に来た人たちが会衆に加わりたいと思えるように助ける
- ・S12 問題にぶつかる時、エホバに頼るなら、恐れ of 気持ちを乗り越え、勇気を持って行動できる
- ・S13 学校や職場で、自分がエホバの証人だということを知らせるのが怖いと感じたり、人からどう思われるかを気にして、伝道者になることやバプテスマを受けることをためらったり、正しいことを行う勇気が出ないと感じる時、自分の気持ちをエホバに打ち明け、勇気をもって行動する

3. 喜んでエホバに仕えるために

- ・S16 記念式の時期だけでなく、一年中いつでも喜んでエホバに仕え、王国を第一にした生活を送る。仕事の予定を調整して、集会や伝道に定期的に参加したり家族の崇拝を毎週行なう。シンプルな生活を送って会衆のためにもっと多くのことをしたり、伝道者の必要の大きな所に移動したりできる。エホバに仕え続けるには努力が必要だが、王国を第一にするなら、エホバは豊かに祝福してくださる

17 番の歌 「そう望みます」

△ 記念式の時期には、イエスの生涯や死についてじっくり考えます。エホバとイエスが示してくださった愛についても思い巡らします。そうすると、感謝を行動で表したいという気持ちになります。この記事では、贖いへの感謝やエホバとイエスへの愛をどのように示せるかを学びます。エホバとイエスの愛に感動すると、兄弟姉妹を愛し、勇気を示し、喜んでエホバに仕えたいという気持ちになるでしょう。

△ (コリ二 5:14, 15) キリストの愛が私たちを駆り立てるのです。私たちは次のように考えているからです。1 人の人が全ての人のために死にました。ということは、全ての人死んでいたの